

SDC 2300 INDEX

* 使用時の組み立て方	P-2
* 収納手順	P-3
* 電池	P-4
* ヘッドフォンの取り付け	P-5
* クイックスタート	P-5
* 電源を入れる	P-6
* LED表示	P-6
* 電池の状態	P-7
* ノイズキャンセル	P-7
* 操作音	P-8
* 土壌バランス	P-8
* 探知モード&感度	P-9
* オーディオピッチ	P-10
* ターゲット信号の確認	P-11
* 金発見のヒント	P-11
* 探知機メンテナンス	P-12

アームレストストラップ

Armrest Strap

Armrest

アームレスト

ハンドル

Handle Assembly

LED Display and Controls

LEDディスプレイ &
コントロール

Shaft Hinge

シャフト・ヒンジ

コイル軸

Coil Pivot Assembly

Coil

コイル

Skidplate

コイル・カバー

Battery

Compartment

電池パック

ヘッドホーン・ジャッキ

Headphone

Connector

Main Body

コントロール・ボックス

Controls

コントロール

シャフト上部

Upper Shaft

Upper Camlock

上部カムロック

Middle Shaft

中部シャフト

Lower Camlock

下部カムロック

Lower Shaft

シャフト下部



NiMH C-Cell Batteries
(Charger included)

NiMH単2形電池
(充電器付き)



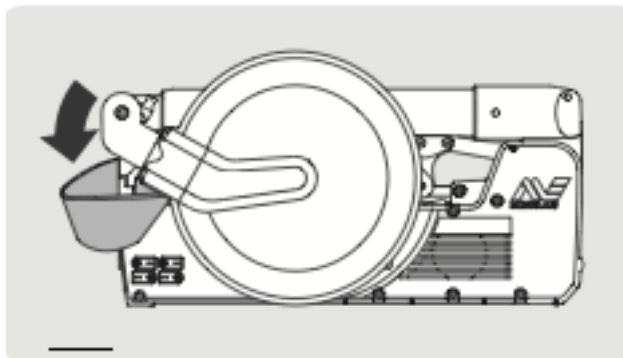
Instruction Manual
and Quick Start Guide
取扱説明書



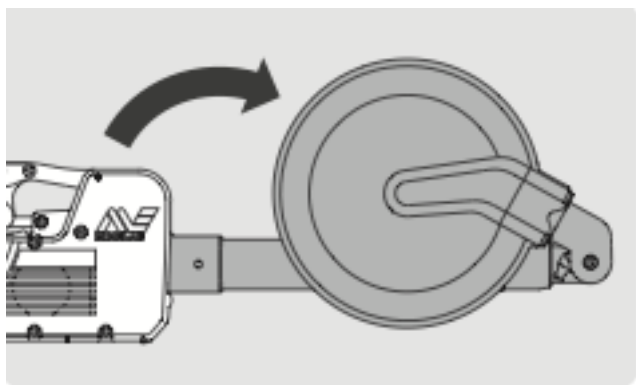
Headphones
(Not waterproof)
ヘッドホーン
(防水ではありません)

使用時の組み立て方

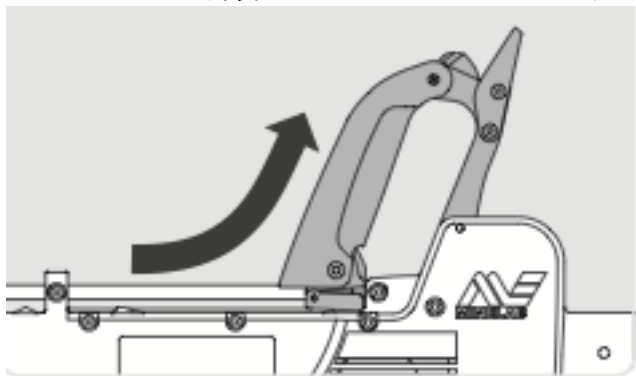
1. 肘あてストラップをゆるめ、コイル軸を動かし組み立てシャフトから外す。



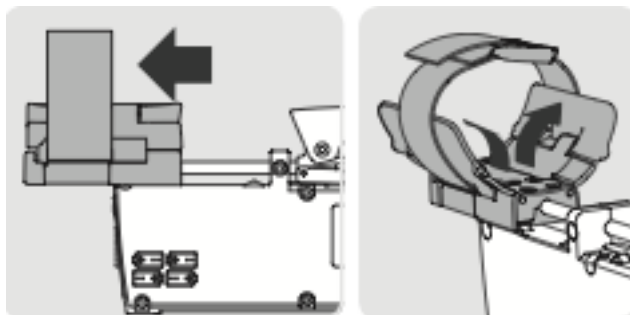
2. 折り畳まれているコイルとシャフトとをカチッと定位置に嵌まるまで広げる。



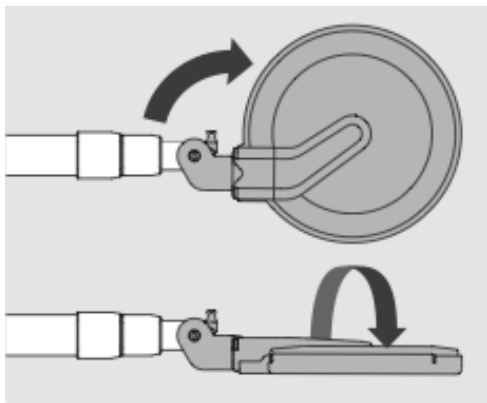
3. ハンドル部分をスライドさせながら前方へ持ち上げ定位置にセットする。



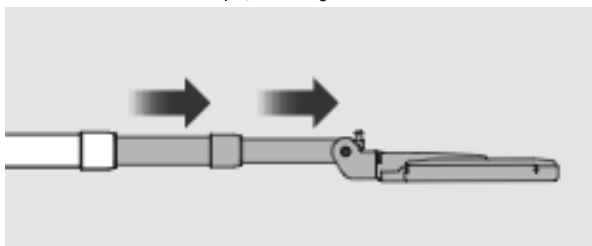
4. 肘あてを後方へ止まるまでスライドさせ、腕輪を外側へ広げる。



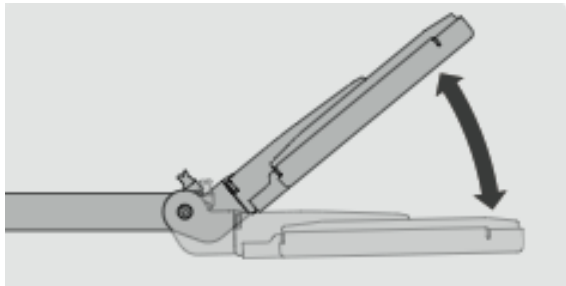
5. コイルを前方へ180度回し、シャフトと
一列になるようにしてから、コイルを90度回し水平にする。



6. CAMLOCKをゆるめ、中間部と下部のシャフトを使用者に使いやすい長さまで伸ばし、
CAMLOCKを閉める。



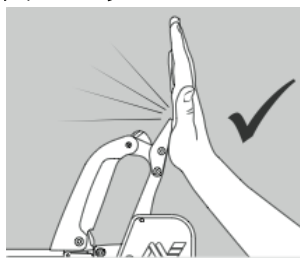
7. 使用者の探知ポジションに合わせ、コイルを地面に対し平行になる角度に調整する。



収納 手順 Packing Up

1. 肘あての腕輪を閉じ、肘あてを引っ込める。
2. 片手で探知機の底を持ち、もう一方の手でLED画面の後ろを押し倒すとハンドル部分が倒れます。

この時、下図のようにハンドルを手前に引っ張らないでください。



注意！ ハンドルを倒すとき、指を挟まないようにご注意ください。

3.

CAMLOCKをゆるめ、シャフトを縮めます。シャフトとコイルを回し収納ポジションまで戻します。

電池 Batteries

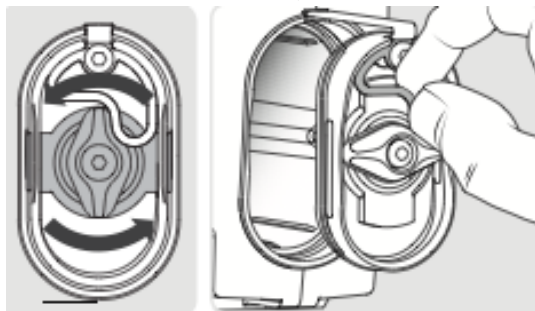
SDC 2300

は単2形電池を4個使用します。付属されている充電電池の他、アルカリ電池を使用できます。充電電池は容量4000mAh又はそれ以上の高品質の充電電池の使用をお勧めします。充電電池はその製品の電池寿命を生かせるよう的確なメンテナンスをしてください。探知の際は、予備にアルカリ電池の携行をお勧めします。

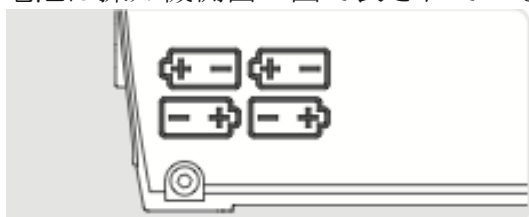
Tips: 探知機をご使用前には必ず充電電池の充電が満たされていることをお確かめください。性能の良い電池をご使用ください。

電池は探知機の後部に収納されています。

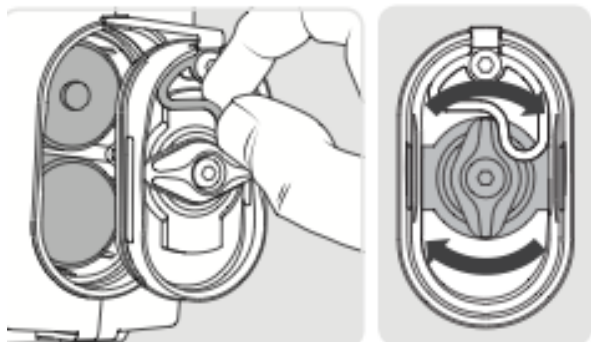
収納口を開けるには、ノブを時計回りと反対方向に回し、下図に示されている様に引き出します。



電池は探知機側面の図で表されている様に配列を間違えないように挿入します。



収納口を押し入れ、ノブを時計回りに閉めます。





注意！

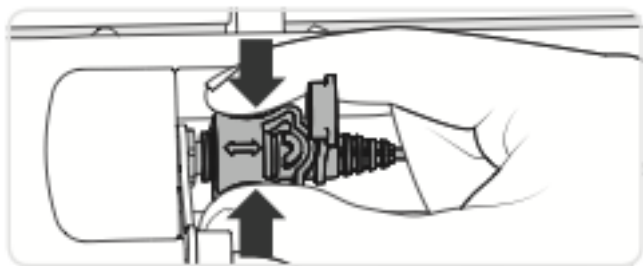
電池挿入口の防水シールを絶対に傷つけない様にしてください。防水シールに傷が付くと水中での使用時探知機に大きなダメージを与え故障の原因になります。必ずシールの回りは清潔に保ち、表面に傷がついていないかを確認してください。

準備 Getting Started

ヘッドフォンの取り付け Connecting Headphones

探知機はヘッドフォン無しでも使用できますが、ヘッドフォンを使用した方が電池の消耗を抑えることができるるとともにターゲット音の聞き逃しを防ぐ事ができます。

ゴミよけキャップをヘッドフォン用のプラグ差し込み口から外し、ヘッドフォンを取り付けます。ヘッドフォンプラグのゴムカラーを ←→ が上に見える状態で親指と人差し指で持ち、差し込み口にプラグが一行に並ぶ様にしてしっかり押し込みます。

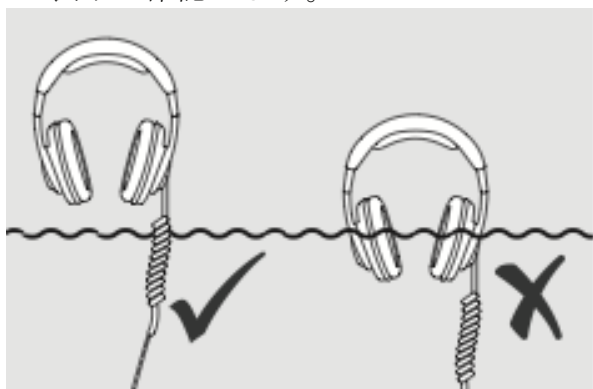


ヘッドフォンを接続すると自動的にビルトインスピーカーからは音がでません。



ヘッドフォン水濡れ厳禁！

ヘッドフォンの耳当て部分は防水になっていません。
ヘッドフォンケーブルとコネクター部分のみ防水です。
水面下で使用する場合はヘッドフォンを外さなければなりません。この場合、ターゲット反応はLED表示で確認します。



クイック スタート Quick Start

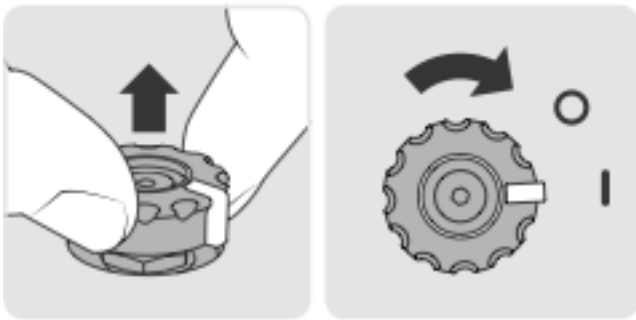
標準的な使用でのステップ

1. Normal mode 2 (green) にセットする。
2. 電源を入れる。 ‘Turning the Detector On’ を参照
3. 必要がある場合は Noise Cancel を調整する (P 8 参照)
4. Threshold (必要ならば) を調整する (P 8 参照)
5. Ground Balance を調整する (P 9 参照)
6. 探知をスタート Start detecting

NOTE: 土壌の状態によって、それぞれの探知場所での調整が必要です。

電源を入れる Turning the Detector On

探知機の電源を入れる時、コイルは回りの金属物から離れた状態にしてください。
電源スイッチを引き上げ、時計回りにまわして放します。



電源を入れると探知機は4、5回連続上昇音を出してからLEDが明るくなります。
使用準備ができました。

LED表示 LED Display

SDC2300のLEDには大凡のターゲットサイズが表されます。

一番目のLEDは常時点灯しますが、小さい又は深いターゲット反応では2、3のLEDが明るくなり、大きい又は浅いところのターゲット反応では全てのLEDが明るくなります。



弱い信号の反応 — 小さい、又は深いターゲット



強い信号の反応 — 大きい、又は浅いターゲット



電池の残量が少ない事を点滅して知らせるLED

電池の状態 Battery Status

次の要領で電池のレベル状態をいつでもチェックできます。

1. Noise Cancel ボタンを押した状態で Threshold ボタンを押してから離し、Noise Cancel ボタンを離す。



2. LEDの明るさにより電池の状態が示される。(約3秒)



注意： 充電電池とアルカリ電池のLED表示の違い
充電電池はフルチャージの場合でもLEDは半分のみのもるさを表示します。



①

1. 2V充電済み電池

②

1. 5V新品アルカリ電池

設定の調整 Adjusting Settings

ノイズ キャンセル Noise Cancel

電気系統から受ける雑音障害を減少させる。



電線、電気機器、近くにある様々な金属などから影響を受ける雑音障害を減少させる。Noise Cancel が働いていると、探知機は自動的に適したチャンネルを選択する。

探知機を動かしていないのに雑音がある場合は、Noise Cancel を使い干渉を緩和させる。

Noise Cancelの設定方法

1. 地面からコイルを離し、動かさない。
2. Noise Cancel ボタンを押してから放す。
3. Noise Cancel が設定されるのを少し待つ。
4. 設定完了後、探知を始める。

Noise Cancel の設定には約50秒ほどかかります。
音が鳴り続けた後、4回ブザーが鳴ったら完了です。

操作音 Threshold

操作音のレベルを設定



Threshold とは探知機を操作するときに、常時バックにかすかに聞こえるようにする操作音です。
ターゲットからの反応を音量とピッチの変化で知らせる操作音です。

使用者の好みで操作音のレベルを設定しますが、この操作音の変化を聞き逃さない音量に設定します。

ターゲットの大きさ又は深さによっては Threshold の変化が明確では無い場合もあります。

Threshold のレベルは9段階あります。ボタンを押すごとに設定値が上がり、LEDが表示します。
最大値まで上げた後、ボタンを押す 設定値を下げるすることができます。



土壌バランス Ground Balance

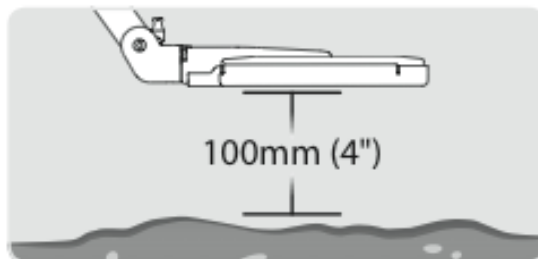
Compensating for ground mineralization.

ほとんどの土壌は色々な鉱物質、塩分、化学物質を含みます。このような土壌鉱物質は雑音となってターゲットからの反応に影響を与えることがあります。特にかすかな反応音や小さくて深いところにあるターゲットからの反応音が影響をうけ探知が難しくなります。

SDC 2300 は Minelab社の開発した Automatic Ground Tracking (AGT) システムにより、土壌の変化に自動で対応し、探知しやすい土壌バランス設定を保ちます。

Fast Ground Balance 設定方法

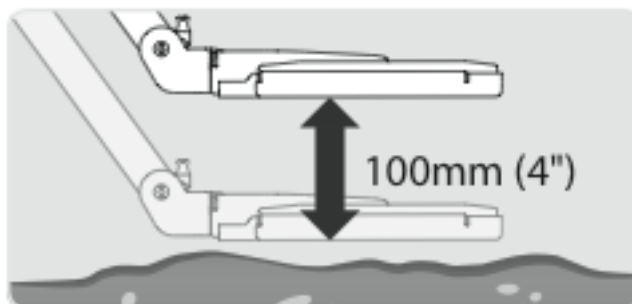
1. 金属物がない場所で、コイルを地面から 10 cm 程離し、地面と平行になる様に保ちます。



2. 緑の Ground Balance ボタンを押し続けます。



3. 地面に触れないようにコイルをゆっくり上下させます。



4. コイルを上下させることによる音が安定し、雑音が消えるまで運動を続け、操作音を安定させます。

5. 緑の Ground Balance ボタンを放します。

ヒント！ Tips:

* Ground Balance 設定を行った後も雑音が止まらない場合は、Sensitivity 感度の設定を下げる必要があります。

探知モード&感度 Detecting Mode (and Sensitivity)

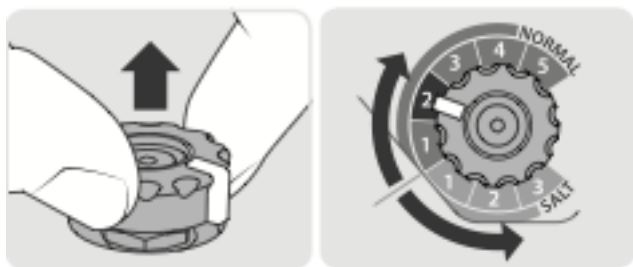
Optimizing performance for various conditions.

探知機の側面にある 8 段階スイッチを回転することによりモードと感度の設定ができます。

Normal mode (orange 橙 1-5): 一般的な土壌状態に適した 探知モードです。Ideal for a wide range of ground conditions. A good default mode to detect in most areas.

Salt mode (blue 青 1-3):

塩分質（海辺など）や、鉍物質が多い土壌に適した探知モードです。
つまみを持ち上げて回転させ設定する。



高感度設定（orange 橙

5）は小さいターゲット、又は深いところにあるターゲットに適していますが、感度を上げる事により、グラウンドノイズや干渉妨害が生じることがあります。

高感度設定は土壌鉍物質含有量が低く、干渉妨害に影響を受けない場所での使用をお勧めします。

硬質化した土壌鉍物質含有量が高く、干渉妨害が多い場所では、感度設定を低くすることにより誤信号や

干渉妨害を防ぎ、ゴールドからの信号が聞きやすくなります。

Minelab では、探知機のベストパフォーマンスのため、**normal mode 2**

（緑）の設定からスタートすることをお勧めします。その後、使用場所にあわせた設定へと調整してください。

Tip: ヒント

NORMAL , SALT いずれの設定においても感度設定が高い程、良いパフォーマンスが得られます。探知機を作動させ、感度設定を誤信号は出始める設定値まで上げます。その後、1 段階設定値を下げて設定してください。

オーディオ ピッチ Audio Pitch (Tone)

低いピッチと高いピッチの2種類のピッチの選択ができます。

オーディオピッチを変更には、Threshold button を押し続け、電源つまみを回します。



Threshold button

を押し続けて電源つまみを回さなければ、探知機はすでに設定されているメモリー設定値に戻ります。

金を見つけるには Where to Find Gold

石英を含む金鉱脈の割れ目や鉄鉱石などがみられるところにナゲット金塊を見つけることができます。

地質を調べることで、どのようなところに金があるか、経験を積みながら探していきます。金（0.1 g以上）が

実際に見つかった場所に足を運び、その土壌の色、植物、形成されている岩石の種類などの観察、分析を知識として積み重ねます。ただし、金属探知機は細かい砂金を見つけるのには適していません。

金属探知機を使用するにあたって特に問題になるのは、鉄鉱石による誤信号がありますが、SDC 2300は

ほとんどの鉄鉱石からの反応を排除し金の発見を可能にします。

ターゲット信号の確認 Identifying Target Signals

金属物からのターゲット信号は、コイルを多方向から動かしても一貫した反応を發します。

コイルを動かしている時、土壌状態が突然変化するとグラウンドノイズ（誤信号）が現れます。この信号は幅が広かったり、途切れたり、一方方向からのコイルの動きのみに現れることがあります。

大きくて深いところにある金は浅くて小さな金より幅広い反応を示します。

金属物からの正しい反応なのかグラウンドノイズなのかが分からない場合、上土を 4 cm くらい取り除き、再度チェックしてください。反応音が弱くなればグラウンドノイズと考えられます。反応音と同じ又は強くなれば金属物からの反応音です。判断が難しい場合はもう少し穴を深くして再度確認作業を続けます。

木炭が土壌の表面近くにあると金属物からの反応のように大きな音になります。木炭の反応音は幅広く、掘り進むと途切れ途切れになります。

割らなければわからない石の中にも金がある可能性があります。

探知機が反応音を示し、金属物と疑われる場合は掘り進めることをお勧めします。

金発見のヒント Maximizing Gold Recovery

These hints and techniques will help you find more gold with your SDC 2300.

The SDC 2300

は運動型探知機です。コイルを動かす事でターゲットの上をコイルが通過したときに反応音が発せられます。

コイルは、地面の近く（地面すれすれを軽く滑らすのも可能）を又、いつも地面に対して平行を保つように動かすことで最善のパフォーマンスを得られます。

右図のようにコイルを地面に対して平行を失う動きは探知深度を減少させたり、誤信号の原因になります。動き始め、終わりのコイルの持ち上げはしないように注意してください。



コイルの動きは範囲を重複しながら進みます。コイルの大きさの 50 % が重複するように動かし、探知範囲内に探知ミスがないようにします。



コイルを動かすスピードはゆっくり。前進しながらコイルを左右に動かします。

標準スピードは 左→右→左

で4秒間です。動かすスピードが早過ぎると探知深度が減少します。

誤信号の原因になるような金属の道具や身に着けている金属（ベルト、アクセサリ、靴の中の金属など）にコイルを近づけないこと。

感度設定は高すぎないように注意すること。安定した感度設定でより良いパフォーマンスが期待できます。

反応音が得られたらすべて掘ってみることが大切です。

探知機の反応音を注意深く聞く事。視覚に頼るより聴覚を鍛えることが大事です。

探知機メンテナンス Detector Maintenance

- ・ 完全防水を保つためには、電池収納口 (O-ring) や全ての接続部の損傷がないことを確かめ、いつも汚れないように整備します。
- ・ 電池収納口のシールを外すときは、鋭い道具をつかうことは厳禁です。傷つける心配のない道具を使用します。
- ・ シールは柔らかい湿った布で拭きます。損傷がみられたら即座に取り替えが必要です。
- ・ 接続部はやさしくブラシをかけるか拭き取りいつも汚れを落としておきます。
- ・ 探知機全体も砂や埃、泥などの汚れを落とします。
- ・ ねじれがないように正確にバッテリーシールを戻します。
- ・ 電池を探知機に正確に入れます。
- ・ 電池収納口が完全に閉じられている事を確認します。
- ・ **ヘッドフォン本体は防水ではありません。**
ヘッドフォンの接続部とケーブルは防水です。
- ・ ヘッドフォンケーブルに過度な張りをかけないように注意してください。
- ・ O-ring 防水シールは潤滑油などの必要はありません。
- ・ 探知機をガソリンや石油系液体に接触させないでください。
- ・ 探知機を極寒、極暑に放置しないでください。
長時間、直射日光があたったり、閉め切られた車内に放置しないでください。
- ・ シャフト、ちょうつがい、カムロックなどに砂や泥を残さないでください。

- ・ 探知機の汚れを落とすのに溶剤は使わないでください。マイルドソープの湿った布で拭いてください。結合部は水で洗ってください。
- ・ 水中で使用した後は必ず水で洗ってください。
- ・ ご自身での分解、修理は保証を無効にします。ご注意ください。
- ・ 探知機の運搬時はダメージを与えない様に慎重に扱ってください。
また保管時は汚れをおとしてください。
- ・ コイルカバーに損傷がある場合、コイル自体にダメージを与える前にカバーを取り替えてください。
- ・ 長期間、探知機を使用しない場合は電池を取り外してください。電池の液漏れでの故障は保証の対象外です。

SDC 2300 Specifications

Coil	サーチ・コイル	8 1/2" (20.3 CM) 円形単一ループ
Audio Output	音声	スピーカ、ヘッドホーン
Display	ディスプレイ	9 LED: 探知、バッテリー、識閾
Length	長さ	1500 mm - 400 mm
Weight	重さ (バッテリー&ヘッドホーン除外)	2.3kg.
Operating Temperature	操作適時温度	0°C ~ 50°C
Storage Temperature	保管温度	-33°C ~ 70°C
Battery	バッテリー	C-Cell (単2形) X 4 1.2V NiMH (充電用) 充電器付属 1.5Vアルカリ電池 及び1.2V NiCad充電池も 使用可能
Detecting Mode	探知モード	Normal (標準) 1 - 5 Sensitivity (感度) Salt (塩分) 1 - 3 Sensitivity (感度)
Noise Cancel	ノイズキャンセル	雑音除去
Ground Balance	対土壌バランス	自動土壌トラッキング (AGT) スピード 土壌バランス
Threshold	識閾	9 音声設定
Audio Pitch (Tone)	オーディオ・トーン	LOW、HIGH
Transmission	送信装置	電磁パルス誘導型
Technology	テクノロジー	Multi Period Fast (MPF) 多重周期
Optional Accessories	オプションアクセサリ	防水ヘッドホーン、キャリーバッグ

COMPLIANCE

THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

DISCLAIMER

The Minelab metal detector discussed in this instruction manual has been expressly designed and manufactured as a quality metal detector and is recommended for gold detecting in non-hazardous environments. This metal detector has not been designed for use as a mine detector or as a live munitions detection tool.

PLEASE NOTE

Since there may be a variety of options available for this detector, equipment may vary according to the Model or items ordered with your detector. Certain descriptions and illustrations may also differ (in this manual) from the exact Model that you purchased. In addition, Minelab reserves the right to respond to ongoing technical progress by introducing changes in design, equipment and technical features at any time.